

資料3

令和7年度 大阪府債発行計画（案）について

（単位：億円）

区 分			4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期計	合 計
市場公募債		10 年	100	100	100	100	100	100	600	100	100	100	100	100	100	600	3,400± α
		5 年	100	100	100	100	100	100	600	100	100	100	100	100	100	600	
銀行等 引受債	証券	5 年							0	100						100	
	証書								0	200						200	
フレックス枠			700± α														
共同発行債		10 年	820														820
合 計																	4,220± α

（注）本計画は、民間資金にかかる月別の発行予定額であり、市場環境等により変更する場合がある。

フレックス枠とは、発行計画の策定に際し、時期や年限、総額等をあらかじめ定めず、市場の環境や投資家のニーズに応じて機動的に発行する枠である。

α ：変動要素

令和7年度発行計画の具体的な考え方

（１）市場公募債（10年・5年）

- 不安定な市場環境及び投資家の需要動向等を踏まえ、1回の発行ロットを100億円とし、各年限、毎月平準発行を予定

（２）銀行等引受債（証券・証書）

- 多様な調達手法を維持するために、下半期に1回の発行を予定

（３）フレックス枠

- 事業費の確定等に応じた調整を前提として発行額を設定
- 発行年限や調達手法の多様化の観点から、時節に合った年限やグリーンボンドに取り組む予定

（４）共同発行債

- 地方債市場におけるベンチマーク債としての地位確立と、安定消化を促進する立場から、通常債の持寄額の上限（800億円）を計上
- グリーン共同発行債に20億円を計上